

## 黒船の来航と疫病の侵入 (その3)

### 妖怪アマビエが出現

文政5年(1822年)は、日本で初めてコレラが流行した年であるとともに、西国筋で天然痘が猛威をふるった年でもあります。これらの疫病がいつ終息したかは定かではありませんが、それから23年後の弘化2年(1845年)、肥後国の海中に半人半魚の妖怪、アマビエが出現します。噂は瞬く間に江戸へも伝わり、刷り出されたかわら版の絵には、次のような説明が添えられていました。

肥後国海中え毎夜光物出ル。所之役人行見るニ、づの如く者現ス。私ハ海中に住アマビエト申者也。當年より六ヶ年之間、諸国豊作也。併病流行。早々私ヲ写シ人々ニ見セ候得と申て、海中へ入けり。右写シ役人より江戸え申来ル写也。  
(句読点を追加しています)

これには弘化2年と明確に記されていますが、年号は不明ながら、もう一つ別の話が残っています。越後国新潟の浜にあがった化魚が生け捕られたという話で、次のような

説明が添えられています。

凶處、志兵衛と申ものいけどる右化魚、長二丈余にて、はらのあかきこと舌のことし。われハ大神社姫にて龍宮よりの使なり。當年より七ヶ年のあいだ豊作にて、あく病はやり、人多く志す。わがすがたを見る人ハ、あく病をまぬがるゝよし申し候。右につき、い形にして諸人に見せしむるなり。  
(ルビ・句読点を追加しています)

大神社姫のごときは、その長さが2丈余(約6メートル)、頭には2本の角を生やした長髪の女性の顔に、魚のような9枚のヒレ、全身にうろこ状のものが見てとれたそうです。にわかには信じがたい話ですが、情報に乏しい当時のこと。この



かわら版に刷られたアマビエの姿(京都大学附属図書館所蔵)

ような絵や伝聞をもとに、姿の見えない恐ろしい疫病に対して、気持ちの整理と気構えをしたのではないのでしょうか。アマビエ出現という伝聞により、世情に再び期待と不安が交錯したであろうことは、容易に想像できます。今日、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、疫病退散の効果があるとして、アマビエがたびたびメディアに取り上げられました。その愛らしい姿は好感をもたれたようで、神社の御朱印などあらゆる場面に登場しています。最後は神仏にたのむ気持ちは、今もなお脈々と続いているようです。

### 広川町古墳資料館だより

博物館では、収蔵する文化財をカビや虫から守ることが重要です。当資料館でも、昨年からはIPM(総合的有害生物管理)による虫害対策をとっています。

IPMとは、日常的な管理を主体とした生物被害対策で、文化財や人間、環境に負荷の少ない手法です。生物モニタリング(侵入生物の種類や個体数などの定期的な調査・観測)を主に、さまざまな手法を組み合わせ、

生物被害の低減と予防を目指しています。

八女丘陵に近い当資料館は、多くの生物が侵入する恐れがあります。1階の展示室には昆虫トラップを設置し、害虫の種類を調査した後、投薬などで処置。ヤモリなどのふんで悩まされた弘化谷古墳のレプリカ内は、ブンガノン(液化炭酸ガス防虫忌避剤)による防虫処理をしています。

## INTRODUCTION

### 広川町役場職員

#### 松尾博和（産業振興課商工観光係）

町外出身ですので、まずは地名を覚えて、住民の皆さまとの信頼関係を築き、お役に立てるよう努力していきます。よろしくお願いいたします。



#### 津田裕一郎（総務課行政係）

至らない点が多々あると思いますが、1日も早く仕事を覚えて、住民の皆さまのお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

### 広川町公平委員会委員



廣津洋吉（再任）

町職員の勤務条件の措置要求や不利益処分の審査請求、苦情などを処理する（任期：令和2年10月1日～令和6年9月30日）

### 広川町教育委員会委員



丸山伸司（再任）

町の教育行政の基本方針や重要施策などを審議し、意思を決定する（任期：令和2年10月1日～令和6年9月30日）

### 広川町固定資産評価審査委員会委員



坂田康治（新任）

固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服を審査・決定する（任期：令和2年10月1日～令和5年9月30日）

## 子育てインフォメーション

いち早く

### 189 知らせて守る こどもの未来

あなたの気付きは、子どもの希望。

児童虐待 かもと思ったら  
すぐに相談を。

児童相談所  
虐待対応ダイヤル  
いち はやく  
**189**

11月は児童虐待防止推進月間

周囲で虐待を受けたと思われる子どもを見かけた人、自身が出産や子育てに悩んでいる人は、ひとりで悩まず「児童相談所虐待対応ダイヤル（☎189）」へお電話ください。お住まいの地域の児童相談所へつながります。

よくある相談をホームページで公開しています。右のQRコードを読み取りください。



☎福祉課子育て支援係 ☎0943-32-1113

### 学童保育所 入所申し込み受け付け中

#### 冬季休暇期間の入所申し込み

入所資格 / 昼間保護者がいない町内の小学生  
入所定員 / 若干人（安全を考慮し、低学年優先）  
保育期間 / 12月25日(金)～1月6日(水) [(日)・(祝)・12月29日～1月3日を除く]、8:00～18:30  
利用料 / 1人5,000円（損害保険1,000円含む）  
申込方法 / 11月2日(月)～30日(月)、各学童保育所へ申込書類をご提出ください。申込書類は各学童保育所で配布しています。

※入所決定後、各学童保育所で入所説明会を行います。  
※「延長保育申請書」を提出すると、保育時間を7:30～19:00に延長できます（要延長保育料）。

#### 令和3年度学童保育所入所説明会

日時 / 12月5日(土)、19:30～（受け付け19:00～）

場所 / 各学童保育所

対象 / 入所を希望・検討する保護者

※中広川学童保育所にお越しの人は、役場駐車場をご利用ください。

※終了後、申込用紙を配布します。

上広川学童保育所	☎0943-32-4811
中広川第一学童保育所	☎0943-32-1036
下広川学童保育所	☎0942-52-1422
中広川第二学童保育所	☎0943-32-1357

☎広川町学童保育所事務局 ☎0942-52-1433